

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

資料4

平成28年12月20日

協議会名: 千曲市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
千曲市地域公共交通会議	系統名: 東部地区デマンド型乗合タクシー 運行エリア: 千曲市東部地区	10人乗りワンボックスカーによるデマンド交通を導入することで循環バスでは運行できなかった集落内にも停留所を設置し、利用不便地域の解消を図った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	C 年間利用者数は目標値5,500人に対し3,829人と目標値には届かなかった。利用登録者数も目標値900人に対し742人と目標値を上回ることができなかった。一度利用された方には評判がよく、何度も利用される方が多いが、利用者が固定化してきている。利用登録者数はデマンドの認知が広まり、東部地域以外の登録者が増えてはいるものの目標値には至らなかったが、この1年で100人以上増加した。またデマンド交通の仕組み自体を理解されていない方も多いと思われるため、より丁寧なチラシ作成や説明を行い、周知を図っていく。	利用者、登録者を増加させるため、民生委員を通じて高齢者にデマンドの制度の紹介をお願いしたり、地域を広げて説明会を開催することを検討するほか、「めぐりきりり号通信」を引き続き東部地区や周辺の地区に配布し、よりわかりやすい説明をしていく。 また、昨年度実施した地域協働推進事業において構築した、商店街のスタンプカードと公共交通回数券との交換や、携帯電話のない高齢者のために予約を行う予約支援店を増やして利便性を高め、利用者の増加につなげていきたい。